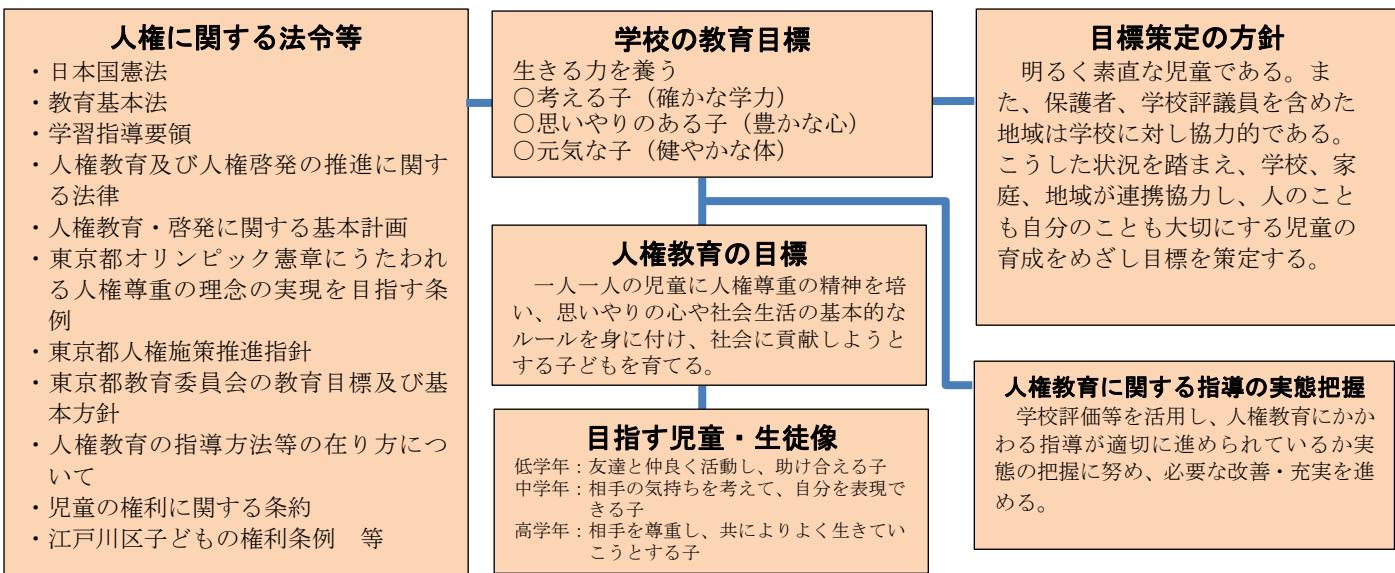


# 令和5年度 江戸川区立小岩小学校 人権教育 全体計画



## 普遍的な視点からの取組と個別的な視点からの取組

### 【普遍的な視点からの取り組み】

- ・お互いの違いを認め合う寛容性を育む。
- ・能動的に傾聴する力や自分の気持ちを的確に伝える力を養う。
- ・自他や社会・自然環境を尊重する心、多様性を尊重する心等を養う。

### 【個別的な視点からの取り組み】

- ・いじめや暴力は人権侵害であることを理解させ、よりよい集団生活を築こうとする態度を育む。

## 学年・学級経営

### 【普遍的な視点からの取り組み】

- ・お互いの違いを認め合う寛容性を育む。
- ・能動的に傾聴する力や自分の気持ちを的確に伝える力を養う。

### 【個別的な視点からの取り組み】

- ・いじめや暴力は人権侵害であることを理解させ、よりよい集団生活を築こうとする態度を育む。

## 日常的な指導

- ・人とのかかわりの中から自他を尊重し、認め合う関係づくりを進める。
- ・児童一人一人の良さを認め、その良さを高めていく。

## 教科等の指導

- ・自分の思いや考えを適切に表現し、伝え合う力を高めるとともに、思考力を養う。
- ・読書を通して自ら学ぶ力や豊かな情操を育む。

## 人権教育の年間指導計画作成のための方針

- ・全ての教育活動において体験的な活動や交流活動を重視する。
- ・望ましい人間関係を育成し、一人一人が生き生きと学校生活を送ることができるようとする。
- ・基礎的、基本的な内容を確実に定着させ、思考力・判断力・表現力を養い、自己実現が図られるようとする。
- ・各教科・道徳・特別活動・総合的な学習の人権にかかわる内容の指導は年間を通して計画的に行う。

## 教職員の研修

- ・人権教育推進担当を中心に、区教委が開催する研修会に参加し、全教職員に報告する。
- ・「人権教育プログラム」を活用し、学習会を行う。

## 校種間の連携

- ・地域の幼稚園、保育園、小学校、中学校間で情報交換を行い、共通理解を図る。特に、中学校との交流を充実・推進する。

## 家庭・地域との連携

- ・学校、学年、ホームページ等で人権教育への理解と協力を求める。
- ・学校公開、保護者会、個人面談等を通して、相互理解を図る。